

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズすてっぴかいぜ				公表日		2025年 1月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	静と動の活動を交えながら、限られたスペースを十分に活用できるように日々努力している。	活動内容によっては、スペースが足りないと感じる。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	職員の配置基準は満たしている。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	玄関は段差がなく、バリアフリー化されている。 棚の角面はクッション剤を貼り付けている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の清掃と併せて、使用後の道具や遊具を次亜塩素酸で消毒している。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	5		ワンルームの支援である為、利用者様がクールダウンを必要としている時に使用できる部屋があるとより良いと感じる。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	朝のミーティング時に必要事項について検討、確認を行い、職員会議においても話し合いをしている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎年保護者アンケートを実施し、その結果を職員で把握し改善に向けて努力している。	保護者様アンケートについて職員間で共有し、年間計画に反映している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	定期的に職員会議を開き、その中で出た意見を支援内容や行事計画に取り入れるようにしている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	現在、第三者評価は受けていない。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部研修や内部研修には積極的に参加をし、職員一人一人の資質の向上に努めている。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	利用者様及び保護者様のニーズを最優先に考え、また相談支援員の助言を参考にしながら、放課後等デイサービス計画を作成している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別計画作成時には、保護者様のニーズそして職員の意見を取り入れて作成するようにしている。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	利用者様の特性、発達を踏まえたアセスメントを行っている。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	個別、グループ活動（粗大運動、戸外活動等）を季節ごとの製作を計画的に取り入れている。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	利用者様が楽しめるような企画、実施を行っている。	長期休暇においては多数のイベントを企画した。また、安全に留意しながら遠出をして科学館や演劇を見る機会をもった。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	利用者様の様子を見ながら、療育に繋がる活動（静と動）を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	朝の引継ぎ時にその日の支援内容を打ち合わせるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援終了後にその日の支援内容を振り返り、その日出勤していない職員には翌朝、伝達する事を徹底している。	支援終了後に話し合いの時間が取れない日がある。そのような場合はグループLINEを活用するようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	療育後に個別支援記録に記載し、支援の情報共有を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に1回のモニタリングを実施し、保護者様のご要望をお伺いし計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	利用者様が社会生活を営んでいく力を育ていけるように、自己決定や自己選択は大切にしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達管理責任者が事業所を代表して参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	地域の関係機関とは連携しており、必要に応じて話し合いに参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	保護者様から学校の行事予定や下校時間を頂いている。変更がある場合は、電話やメールにて連絡をして頂いている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	児童発達支援から放課後デイサービスへ移行される利用者様がほとんどである為、就学前の情報は把握できている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	移行時期には相談支援員が参加者の調整をして下さり、担当者会議の中で情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	発達センター主催の研修会に参加をしたり、必要に応じて担当者会議を開き専門療法士のアドバイスを受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	交流という形ではないが、外出時に公園や図書館で地域の子どもと一緒に過ごす事がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	児童発達管理責任者が事業所を代表して参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	帰宅時にその日の利用者様の様子について報告をし、保護者様からご意見を頂いている。	送迎時である為、時間の都合上十分にご相談に応じられない時がある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		ペアレントトレーニングを踏まえた事業所内支援は行っているが、ご家族に対しての研修機会は設けていない。今後、取り入れてみたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明するようにしている。 利用負担額が変更になったり、上限管理が必要になった場合なども丁寧な対応を心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	モニタリング時や送迎の際に保護者様とお話しすることができており、その中で利用者様や保護者様の意向を把握するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	保護者様からのご相談には適宜応じられるようにしている。また、送迎のタイミングを利用してお話しできるよう努めている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		父母の会は現在、設置していないが保護者様のニーズに合わせ検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情受付について、契約の際に重要説明事項書で説明をしている。また、事業所内に苦情解決の為にフローチャートを掲示している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	週に1回ブログを更新し、利用者様の療育、活動内容を報告している。行事予定はSNSやお便りを通してお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	利用者様の契約時に、ホームページの掲載、お便りへの掲載の有無を確認し個人情報には留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	連絡帳を利用し、保護者様からのご相談には適宜助言できるようにしている。また、送迎のタイミングを利用してお話しできるよう努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		地域住民の方を事業所に招待する事は行っていませんが、近隣住民の方のご理解があり事業所運営が出来ている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	重要説明事項に記載している。また、ホームページにも年間の安全計画を公表し保護者様にお知らせしている。法人で定められた月に、定期的実施している。	訓練を実施した写真をお便りやブログに掲載し、今後も周知を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	自然災害発生時における業務継続計画を作成し、計画内容を職員間で周知している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	利用者様の契約をする際は必ず確認をしている。確認した内容はフェイスシートに記載し、職員で情報共有をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	食物アレルギーの利用者様は在籍していない。	今後、食物アレルギーの利用者様をお預かりする時があればご家庭と情報共有をしながら対応させて頂きたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を確認しながら、月ごとに定められた訓練や点検を実施した。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	安全計画を作成しホームページに掲載し、保護者様にもお知らせしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	危険と思われる事案が発生した際は、ヒヤリハットを作成し事故防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を設置しており、研修会にも進んで参加した。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	法人において身体拘束委員会を発足し、事業所間でも身体拘束の研修を行っている。保護者様との契約の際に必ず身体拘束についての説明を行っている。		